

No.	書名事項	著者事項	出版事項	内容(目次など)	請求記号
001	相棒 ;season8上	輿水泰弘,櫻井武晴,佐伯俊道 他 脚本 錠卯人ノベライズ	東京 朝日新聞社,2011.11		9136 J3 8-1文庫
002	甘い物は脳に悪い :すぐに成果が出る食の新常識	笠井奈津子著	東京 幻冬舎,2011.9	目次 第1章 食生活が悪いのは、あなたのせいではない 第2章 仕事ができる人は朝からこんなに食べている！ 第3章 前向き思考 集中力 決断力は食事で決まる 第4章 仕事で結果を出す人の食事のルール 第5章 局所にダイレクトに効く食材の話 終章 食事が人格をつくる	4985 加 新書
003	異界より落ち来る者あり	香月日輪 著]	東京 講談社,2011.11	内容 雀、屋気楼に永遠を見る 異界より落ち来る者あり 天空の庵にて思う 童女、異界を見聞す 桜貝の海に遊ぶ ; 月下に白菊咲く 風かわりて夏きたる	9136 J3 1
004	生きる覚悟	上田紀行著	東京 角川マガジンス,2011.11	目次 序章 大震災がもたらした絆の確認 第1章 当たり前」に畏がある 第2章 処世術」から 処生術」へ 第3章 得」の絆から 徳」の絆へ ターニング ポイント 第4章 心の支えは、各所に芽生えている 変わる勇気 第5章 命をつなぐ、心をつなぐ ふんばれる支え	159 W1 新書
005	池上彰の新聞勉強術	池上彰著	東京 文藝春秋,2011.12	目次 :プロローグ 一本の新聞記事が世の中を動かす！ 第1章 「ニュースを見る目」は、新聞で養う 第2章 まず、何から読んだらいいのだろうか 第3章 速読から読解まで池上彰流 新聞の読み方方法 第4章 新聞の読み比べ」で身につく情報力 第5章 ネットにテレビに！池上流・メディアミックス新聞術 第6章 知れば知るほど面白い、新聞の取材現場 第7章 新聞の情報整理術&知的活用術 エピローグ 新入社員の新聞勉強術	0704 Y 文庫
006	池田屋事件の研究	中村武生著	東京 講談社,2011.10	目次 第1章 古高俊太郎の 発見」(実証性のない古高伝 古高書翰の謎 ほか) 第2章 池田屋事件への政治過程(一代限りの相続 不穏な政治情勢 ほか) 第3章 池田屋事件起こる(古高に近づく長州関係者 松山忠助は長州の間者か ほか) 第4章 戦闘終息後(茶屋で捕縛 殺害された毛利家家臣 山口に届いた池田屋情報 ほか) 第5章 池田屋事件から禁門の変へ(墓銘碑に記された池田屋での戦死者 河上彦斎の 健碑」活動 ほか)	21058 ナカ 新書
007	一流の男、二流の男	里中李生著	東京 三笠書房,[2011.10]	目次 :1章 一流と二流を決める分岐点 哲学」 ちょっと硬派な、群れない男の生き方 2章 一流と二流を決める分岐点 仕事」 相手から「目置かれる男」の共通点 3章 一流と二流を決める分岐点 才能」 「自分の才能」をどこまで信じているか？ 4章 一流と二流を決める分岐点 財力」 男の器量はお金の使い方である！ 5章 一流と二流を決める分岐点 恋愛」 女には「自分のすべて」を見せてはならない！ 6章 一流と二流を決める分岐点 逆境」 哲学のある男に敗北はやってこない！	159 サト
008	「上から目線」の構造	榎本博明著	東京 日本経済新聞出版社,2011.10	目次 :プロローグ 「上から目線」とは何か 第1章 なぜ「上から目線」が気になるのか 第2章 「上から」に陥りがちな心理構造 第3章 空気読み社会のジレンマ 第4章 目線に敏感な日本人 第5章 「上から目線」の正体	3614 IJ
009	お酒や薬に頼らない 必ず眠れる」技術	森下克也著	東京 角川マガジンス,2011.11	目次 第1章 誰もわかってくれない不眠のつらさ 第2章 なぜ眠れない？起きられない？睡眠のメカニズム 第3章 こんなにある、眠れない、起きられない病気 第4章 これが不眠の原因だ 第5章 これで快眠、かんたん睡眠術 第6章 不規則な睡眠の解決法	49836 E1 新書
010	重い障害を生きるということ	高谷清著	東京 岩波書店,2011.10	目次 序章 抱きしめてB WAKO」 25万人が手をつないだ日 第1章 重い障害を生きる 第2章 どのような存在か 第3章 重症心身障害児施設の誕生 とりくんできた人たちと社会 第4章 重い心身障害がある人の現在 第5章 「いのち」が大切にされる社会へ	36949 効 新書
011	科学と宗教と死	加賀乙彦著	東京 集英社,2012.1		9146 加 新書
012	科学の横道 :サイエンス・マインドを探る12の対話	佐倉統編著	東京 中央公論新社,2011.3	目次 科学は日本で、どれくらい文化なのか？ 茂木健一郎との対話 1 芸術×科学(アトムの先に訪れる未来を夢見て 浦沢直樹との対話 科学とアートが一人のなかに共存するわけ 児玉幸子との対話 超ひも理論」はどんな音楽を奏でるか 吉松隆との対話) 2 言葉×科学(余白をとりこんで科学を語るということ 堀江敏幸との対話 真理を導きだすプロセスは、すべての学問に共通だ 牛場潤一との対話 言語も生物も、多様だからこそ世界は楽しい 黒田龍之助との対話) 3 社会×科学(科学の「わからない」面白さを伝えたい 元村有希子との対話 理料的思考力はどこに生まれ、何にいたるか 小川眞士との対話 介護と科学のモード2をさぐる 三好春樹との対話 ヒトは環境と対話する社会的動物 嘉田由紀子との対話 神なき時代の科学と技術、そして人間 東浩紀との対話)	404 サク 新書
013	神様のカルテ	夏川草介著	東京 小学館,2011.6		9136 ナツ 文庫
014	犠牲のシステム福島 沖縄	高橋哲哉著	東京 集英社,2012.1	目次 第1部 福島(原発という犠牲のシステム 犠牲のシステムとしての原発、再論 原発事故と震災の思想論) 第2部 沖縄(「植民地」としての沖縄 沖縄に照射される福島)	312.199 効 新書
015	奇跡の脳物語 :キング・オブ・サヴァンと驚異の復活脳	茂木健一郎著	東京 廣済堂あかつき出版事業部,2011.4	目次 第1章 賢者のオスカー像 キング・オブ・サヴァンとの出会い 第2章 百年の友情 内なる旋律に耳を澄まして 第3章 可能性の扉が開くとき 秘められた天賦の開花 第4章 すべては奇跡のために 二度目の人生を育む 第5章 才能を育む社会へ 減点方式から加点方式へ	491371 E1 新書
016	金・ドル体制」の終わり :もうすぐ大恐慌	副島隆彦著	東京 祥伝社,2011.11	目次 :1章 2012年、世界は金融恐慌に突入する(まだまだヨーロッパで大銀行が潰れてゆく 2012年は世界大恐慌元年になる ほか) 2章 「ユーロ恐慌」と心中するアメリカ(ギリシャ国債を抱えたフランスの3大銀行の運命 そ	3389 W1

No.	書名事項	著者事項	出版事項	内容(目次など)	請求記号
				れでもギリシャ救済資金は足りないほか) 3章 欧州債務危機に隠されていた「爆弾」(土地 株バブルのあとに残った借金の山 アメリカに課された「4000兆円の処理」ほか) 4章 金・ドル体制の終わり(世界恐慌突入で金の個人取引禁止法が本格的に施行される 消費者を保護するためは詭弁だ ほか) 5章 恐慌とともに 統制経済が始まる(米国債に投資した「債券王」の失敗 米2大住宅会社が抱えるクレジット・デリバティブの処理が始まったほか)	
017	近現代日本を史料で読む : 「大久保利通日記」から「富田メモ」まで	御厨貴編著	東京 :中央公論新社, 2011.4	目次 :序章 史料とは何か 日記を中心に 第1章 明治維新と近代 英雄」たちの心の内 第2章 大正 昭和戦前期 政党政治への道 第3章 戦争の時代へ 第4章 昭和天皇の記録 終戦秘史 第5章 戦後政治と天皇 覆される歴史	210.6 ミナ 新書
018	グローバル恐慌の真相	中野剛志, 柴山桂太著	東京 :集英社, 2011.12	目次 :はじめに 壊れゆく世界を生きぬくために(中野剛志) 第1章 グローバル化の嵐に落ちたアメリカと世界 第2章 デフレで「未来」を手放す日本 第3章 格差と分裂で破綻する中国とEU 第4章 冬の時代のための経済ナシヨナリズム おわりに 歴史は繰り返す(柴山桂太)	333.6 ナカ 新書
019	源氏物語 :千年の謎 ;1	高山由紀子 著]	東京 :角川書店, 2011.6		913.6 ヲク 1 文庫
020	源氏物語 :千年の謎 ;2	高山由紀子 著]	東京 :角川書店, 2011.11		913.6 ヲク 2 文庫
021	原発訴訟	海渡雄一著	東京 :岩波書店, 2011.11	目次 :第1章 原発の安全性を問う(行政訴訟の枠組み 伊方最高裁判決の意義 矛盾に気づき始めた裁判官たち 初の原告勝利判決 もんじゅ控訴審判決 逆転敗訴のもんじゅ最高裁判決 もう一つの勝利判決 滋賀原発2号 炉金沢地裁判決) 第2章 原発は大地震に耐えられるか(浜岡原発訴訟 静岡地裁判決までの経緯 最高裁のダブルスタンダード 柏崎原発訴訟 核燃料リサイクル施設の危険性 青森県六ヶ所村 地震/活断層と各地の原発) 第3章 福島原発事故と東京電力(東京電力の危険な体質 本心に 想定外」だったのか 被災者のための損害賠償) 第4章 被曝した労働者、住民たち(原発と労災 東海村 JCO臨界事故 健康被害裁判 被曝住民と労働者の権利確立を) 終章 脱原発のための法的課題 福島原発事故を最後とするために(同法の失敗 原子力安全行政をどう改革するか 脱原子力へ いま、すべきこと	543.5 カイ 新書
022	こいしり	畠中恵著	東京 :文藝春秋, 2011.11	内容 :こいしり ;みけとらふに ;百物語の後 ;清十郎の問い ;今日の先 ;せなかあわせ	913.6 ハタ 文庫
023	江の生涯を歩く	桐野作人著	東京 :ベストセラーズ, 2011.5	目次 :第1章 浅井家の江 北近江 浅井家ゆかりの地を歩く(プロローグ 浅井家の成り立ち 小谷城 江誕生の地なのか ほか) 第2章 織田時代の江 尾張 岐阜 伊勢 越前を歩く(プロローグ 織田家の庇護の下へ 岐阜 伊勢から尾張へ 織田信長の庇護の下で ほか) 第3章 豊臣時代の江 京都 大坂 伏見 大野 丹波亀山を歩く(プロローグ 江の三度の結婚 織田から豊臣へ 時代の移り変わりを歩く ほか) 第4章 徳川時代の江 江戸を歩く(プロローグ 秀忠の御台所として 江戸城を歩く ほか) 第5章 江ゆかりの人々の墓碑を訪ねて(徳勝寺 大徳寺総見院 ほか)	291.02 キリ 新書
024	甲子園が割れた日 松井秀喜 5連続敬遠の真実	中村計著	東京 :新潮社, 2010.8	目次 :第1章 失望 第2章 誤解 第3章 前夜 第4章 伝説 第5章 挫折 第6章 沈黙 第7章 真相	783.7 ナカ 文庫
025	胡蝶の失くし物	仁木英之著	東京 :新潮社, 2011.6		913.6 ニキ 文庫
026	木練柿	あさのあつこ著	東京 :光文社, 2012.1		913.6 アサ 文庫
027	西行と清盛 時代を拓いた二人	五味文彦著	東京 :新潮社, 2011.11	目次 :第1章 武士の歩む道 第2章 遁世の営み 二十代の旅立ち 第3章 奥州と巖島 第4章 高野参籠 三十代の決断 第5章 世の中の大事 第6章 アナタコナタ 充実の四十代 第7章 讃岐の聖と福原の入道 第8章 接近する二人 五十代の挑戦 第9章 勳進とクーデター 第10章 武者のおこり 六十代の別れ 第11章 願はくは	911.142 コイ
028	「サザエさん」的コミュニティの法則	鳥越皓之著	東京 :日本放送出版協会, 2008.2	目次 :目次 :「サザエさん家族」と「クレヨンしんちゃん家族」どちらがいいか コミュニティーの成立～生みの親より育ての親 コミュニティーが担う「平凡教育」 見返りを期待しない親切と「サザエさん」の笑い 「自治会」とまちづくり協議会」 知恵を授けるコミュニティ 予期せぬ優しさに出会った町を	361.7 トリ 新書
029	さむらい :修羅の剣	鳥羽亮著	東京 :祥伝社, 2011.12		913.6 ヒ
030	さよなら 僕らのソニー	立石泰則著	東京 :文藝春秋, 2011.11	目次 :第1章 僕らのソニー 第2章 ソニー神話の崩壊 第3章 「ソニーらしい」商品 第4章 「技術のソニー」とテレビ凋落 第5章 ホワッツ・ソニー 第6章 黒船来襲 第7章 ストリンガー独裁 最終章 さよなら! 僕のソニー	540.67 タテ 新書
031	残侠	浅田次郎著	東京 :集英社, 2002.11		913.6 アサ 文庫
032	詩の力	吉本隆明著	東京 :新潮社, 2009.1	目次 :目次 現代詩とは何か 谷川俊太郎 田村隆一 塚本邦夫 岡田隆 俳句という表現 夏目番 矢 吉増剛造 歌詞という表現 中島みゆきと松任谷由美 宇多田ヒカル 優れた詩の条件 俵万 智 他	911.04 シ 文庫
033	知っておきたい太陽電池の基礎知識 :シリコンの次にくるのは化	斎藤勝裕著	東京 :ソフトバンククリエイティブ, 2010.8	目次 :第1章 太陽電池ってどんなもの? 第2章 太陽電池の長所は? 第3章 電気ってなんだろう? 第4章	549.51 サイ 新書

No.	書名事項	著者事項	出版事項	内容(目次など)	請求記号
	合物太陽電池?有機太陽電池でみんなが買える価格に?			電気と光は同じもの? 第5章 太陽電池のしくみって? 第6章 シリコン太陽電池ってどんなもの? 第7章 化合物太陽電池ってどんなもの? 第8章 有機系太陽電池ってどんなもの? 第9章 太陽電池システムの改良 第10章 太陽電池の経済的価値	
034	自分探しと楽しさについて	森博嗣著	東京 集英社,2011.2	目次 第1章 自分はどこにあるのか(自分に気づくとき できることが楽しくなる ほか) 第2章 楽しさはどこにあるのか(誰かが楽しさを知っている 楽しさは能動的なもの ほか) 第3章 他者は自分のどこにあるのか(他者への意識 自分は他者によって形成される ほか) 第4章 自分は社会のどこにあるのか(社会とはなにか 社会のために生きること ほか) 第5章 ぶらりとどこかへ行こう(真空管アンプの面白さ 物体への執着 楽しさは増している ほか)	914.6モリ 新書
035	軍鶏侍 時代小説書下ろし	野口卓著	東京 祥伝社,2011.2		913.6ノ1 文庫
036	昭和天皇 : 理性の君主」の孤独	古川隆久著	東京 :中央公論新社,2011.4	目次 第1章 思想形成(東宮御学問所 訪欧旅行 摂政就任) 第2章 天皇となる(田中内閣への不信 首相叱責事件 ロンドン海軍軍縮条約問題) 第3章 理想の挫折(満洲事変 五一五事件 天皇機関説事件と二・二六事件) 第4章 苦悩の「聖断」(日中戦争 防共協定強化問題 太平洋戦争開戦 終戦の「聖断」) 第5章 戦後(退位問題 講和問題と内奏 驛聴録」への道)	288.417ル 新書
037	城を噛ませた男	伊東潤著	東京 光文社,2011.10	内容 見えずぎた物見 鯨のくる城 城を噛ませた男 椿の咲く寺 江雪左文字	913.6イト
038	人生は勉強より「世渡り力」だ!	岡野雅行著	東京 青春出版社,2008.6	目次 :1章 おいしい情報を手に入れる「世渡り力」 2章 人を引き寄せ、動かす「世渡り力」 3章 自己演出で評価を上げる「世渡り力」 4章 仕事の敵から身を守る「世渡り力」 5章 遊びから最高のアイデアを生むコツ 6章 どこでも生きていける「腕」の鍛え方	159.4オカ 新書
039	新聞社も知りたい日本語の謎	読売新聞新日本語取材班著	東京 :ベストセラーズ,2010.3	目次 :1章 方言の今 日本全国、こんなに異なる物の言い方(「マック」か「マクド」か 同じ「マクド」でも.. ほか) 2章 方言の戦い 東京vs関西、言葉をめぐるバトル(東京弁は「きしよい」!? 東京への劣等感が根底にある? ほか) 3章 まだまだ方言の戦い 日本語の奥深さを実感する(関西弁での講義にとまどう留学生 みずから方言教材を作る地域も ほか) 4章 マニュアル作り 伝えることの難しさ(漢字より仮名はわかりやすいのか 仮名にすればよいのか ほか) 5章 続・マニュアル作り 「わかりやすさ」って何だろう(辞書が必要!? 携帯電話の説明書 そもそも「テンプレート」って何だろう ほか)	818ミミ 新書
040	親鸞 激動篇 上	五木寛之著	東京 講談社,2012.1	目時 聖者の行進 招かれざる客たち 春風のなかで 人買いの市で 裸身の観音 新しい生活 深夜の逃走 夏の終わり 焼野原の風景 幻の七日 蛇抜けのごとく	913.6イツ 1-1
041	親鸞 激動篇 下	五木寛之著	東京 講談社,2012.1	目時 風と雪と海と 流れゆく歲月 未知の世界へ 山と水と空と まがりくねった道 稲田の草庵にて 風雨強かるべし 光陰矢のごとく 都を思えば 黒年仏の闇 出会いと別れ それぞれの出発 あとがき	913.6イツ 1-2
042	図説平清盛がよくわかる! 厳島神社と平家納経	日下力監修	東京 青春出版社,2012.1	目次 序章 平清盛と厳島神社 第1章 厳島神社の全貌 第2章 厳島神社のしきたり 第3章 平清盛と日宋貿易 第4章 平家納経とは何か 第5章 厳島のあゆみ 厳島神社関連年表	175.976ケ 新書
043	図説地図とあらすじでわかる倭国伝	宮崎正勝監修	東京 青春出版社,2011.5	目次 序章 中国正史と倭国伝 第1章 漢書 後漢書 三国志に登場する倭人 第2章 宋書 隋書と大和王権 第3章 旧唐書 新唐書が記す倭国と日本国 第4章 宋史 遼史と日中没交渉の時代 第5章 元史 明史にみる日中関係の変容 終章 新たな日中関係の構築	210.182ミヤ 新書
044	スノーボール・アース 生命大進化をもたらした全地球凍結	ガブリエル・ウォーカー著 渡会圭子訳	東京 早川書房,2011.10	目次 第1章 最初の生命らしきもの 生命四〇億年の歴史と氷の地球 第2章 北極 異端児ポール・ホフマンの出版 第3章 始まり 先駆者たちの業績 第4章 滋場は語る 仮説が誕生したとき 第5章 ユーリカ! 才能ある研究者たちの共同作業 第6章 伝道 論戦は始まった 第7章 地球の裏側 オーストラリアで見えてきたもの 第8章 凍結論争 過熱する議論を超えて 第9章 天地創造 カンブリア紀の大爆発へ 第10章 やがてまた	456.2ウオ 文庫
045	スペイン・ロマネスクへの旅 : カラー版	池田健二著	東京 :中央公論新社,2011.3	目次 :カタルーニャ地方 アラゴン地方 ナバラ地方 カスティーリャ・イ・レオン地方 アストゥリアス地方 ガリシア地方	523.36イケ 新書
046	政治家の殺し方	中田宏著	東京 幻冬舎,2011.10		318.237ナカ
047	青春の神話	森村誠一著	東京 中央公論新社,2011.11		913.6モリ 文庫
048	絶望世代に告ぐ : おちまさとプロデュース ビジネスの教科書	おちまさと著	東京 朝日新聞出版,2011.12	目次 第1章 絶望感「哲学」を学べば消える(根拠なき自信「ある者だけが、チャンスをつかむ 流行にのまねず、勇気を出して「右向け左」で進む ほか) 第2章 テクニックだけで人はスキルアップする(記憶を複合した時、企画はひらめく「体温マーケティング」で、人生は変わる ほか) 第3章 コミュニケーションは誰でも上達する(二人きりの時間を埋めるには、コツがある 私にとつての「ジョーズ」が、あなたにはありますか ほか) 第4章 自分をプロデュースする(「継続する変化」でこそ、新たな人脈が生まれる 自分プロモーションの時に、第0印象」に気をつける ほか)	159.4オチ
049	せんせい。	重松清著	東京 新潮社,2011.7		913.6シケ 文庫
050	戦前昭和の社会 : 1926-1945	井上寿一著	東京 講談社,2011.3	目次 :1章 昭和の大衆消費社会(デパート 大衆消費社会の象徴 アパート 戦前昭和の縮図 映画 スクリーンの向こうのアメリカ 家庭電化製品という希望) 2章 昭和の格差社会(モダンガールの登場 モダンボーイ 新中	210.7イノ 新書

No.	書名事項	著者事項	出版事項	内容(目次など)	請求記号
				間層の苦闘 プロレタリア文学と大衆 「エロ・グロ・ナンセンス」 3章 格差是正の試み(立ち上がる農民 雑誌「家の光」の世界 婦人)の登場 新しい労働者 新興宗教の興隆) 4章 カリスマ待望と戦争(ラジオと戦争 エブロンからモンペへ 写真壁新聞というメディア ファシズムへの共感)	
051	増税のウソ	三橋貴明著	東京:青春出版社,2011.11	目次:第1章 増税が世紀の愚策であるこれだけの理由 第2章 誰が日本の「財政破綻」を喧伝しているのか 第3章 増税と緊縮財政で恐慌に突入した欧州の惨状 第4章 大マスコミと財務官僚の言い分の裏にある思惑 第5章 デフレの放置こそ国民生活を苦しめ続ける元凶 第6章 今こそ日本政府が行うべき成長のための施策 第7章 日本復活へのカギを握る 新世代の公共投資論	342.1 ミツ 新書
052	第三身分とは何か	シエス著 稲本洋之助 ほか 訳	東京:岩波書店,2011.2	目次:第1章 第三身分は一個の完全な国民である 第2章 第三身分は、これまで何であったか。無であった 第3章 第三身分は何を要求しているのか。何がしかのものになることを 第4章 政府が試みたこと、および第三身分のために特権者が提案していること 第5章 何をなすべきであったか、この点についての諸原理 第6章 残された課題。いくつかの原理についての補論	311.235 け 文庫
053	大聖堂 ;上	ケン・フォレット著 矢野浩三郎 訳	東京:ソフトバンククリエイティブ,2005.12		933.7 7才 1文庫
054	大聖堂 ;中	ケン・フォレット著 矢野浩三郎 訳	東京:ソフトバンククリエイティブ,2005.12		933.7 7才 2文庫
055	大聖堂 ;下	ケン・フォレット著 矢野浩三郎 訳	東京:ソフトバンククリエイティブ,2005.12		933.7 7才 3文庫
056	平清盛 ;1	藤本有紀作 青木邦子 ノベライ ズ	東京:NHK出版,2011.11		913.6 7シ 1
057	耐えて勝つシンキング ベ ースボール 赤ヘル軍団を 率いた名将の大学野球改 革	古葉竹識著	東京:ベースボール・マ ガジン社,2011.9	目次:第1章 耐えて勝つ」を体現した快進撃(なんとしても神宮へ 開幕戦に耐えて勝つ」ほか) 第2章 古葉野 球の神髄(名指導者に導かれ 濃人監督の教え ほか) 第3章 勝つためのチーム変革(東京国際大の監督に就任 した理由 孫みたいな選手たちとともに ほか) 第4章 プロの目で見た大学野球(教えるのは「基本」 プロのレベ ルと比較するのは間違い ほか) 第5章 野球への恩返し(野球を通じた人間形成 ユーティリティープレイヤーを 目指せ ほか)	783.7 川 新書
058	獺祭 時代小説書下ろし	野口卓著	東京:祥伝社,2011.10		913.6 7ク 2文庫
059	田中角栄に今の日本を任 せたい	大下英治著	東京:角川マガジズ,2 011.11	目次:序章 田中角栄が構想した「日本列島改造論」はこうして生まれた(学歴はなくても、人を惹きつける力に長けていた 雪はロマンじゃない。生活者にとって雪は戦いである 産業サイトから考察した国土開発の視点 ほか) 本章 田中角栄をよく知る男たちの証言で綴る「新・日本列島改造論」(震災復旧 復興対策 新しい国土創成 地域再生と 経済成長 ほか) 最終章 トップは世界を俯瞰し、国の道筋を示す戦略を持って! (古い価値観にとらわれず、国を富ま すこと 大きな節目に、第3の開国ができるかが問われている 「太陽経済」あつての「日本列島改造論」ほか)	312.1 才 新書
060	食べる。	中村安希著	東京:集英社,2011.11	目次:インジェラ エチオピア サンボル スリランカ 水 スーダン 野菜スープと羊肉 モンゴル ジャンクフ ード ポツワナ BBQ 香港 キャッサバのココナツヨレ煮込み モザンビーク 臭臭鍋と臭豆腐 台湾 ヤ ギの内臓 ネパール グリーンティー パキスタン タコス メキシコ ラーメンと獣肉 日本 自家蒸留ウォッカ アルメニア 自家醸造ワイン グルジア Tam agoyakとコンポート ルーマニア	290.9 ナカ
061	小さな「悟り」を積み重ねる	アルボムッレ・スマナサー ラ著	東京:集英社,2011.11	目次:第1章 あべこべ人生の夢から覚める(あべこべ人生の夢から覚める 人が考えるのはバカだからである ほか) 第2章 諦める力」で人は成長する(完成は瞬間においてしかない 諦める力」が幸福をもたらす ほか) 第3章 疲れない生き方は可能である(仕事は本来疲れないものである 人間はそもそも自立できない生き物である ほか) 第4章 争いをもたらす自尊心を捨てる(自分すら頼りにしないほうが救われる 愛はほんとうは悪いものである ほか) 第5章 人生は割り算にするといひ(足し算の人生から引き算の人生へギアチェンジする 脳が喜ぶ笑い」が問 題を解決する ほか)	184 7マ 新書
062	地図と愉しむ東京歴史散 歩 :カラー版	竹内正浩著	東京:中央公論新社,20 11.9	目次:1 石垣に刻まれた幻の水準点 2 明治の五公園は今 3 市営霊園の誕生と発展 4 都内に残る水道道 路の謎 5 生まれた川と消えた村 6 幻の山手急行電鉄計画 7 軍都の面影を訪ねて 8 未完の帝都復興 道路 9 廃線分譲地と過去の輪郭	213.6 7ク 新書
063	知的文章とプレゼンテーシ ョン :日本語の場合、英語の場合	黒木登志夫著	東京:中央公論新社,20 11.4	目次:第1章 理系、文系の区別はない 第2章 日本語は非論理的か 第3章 知的三原則 簡潔 明解 論理的 第4章 説得力のあるトキメントを書く 第5章 審査する・評価する・推薦する 第6章 人を惹きつけるプレゼン テーション 第7章 英語の世紀を生きる 第8章 コンピュータを使いこなす	816.5 加 新書
064	中国化する日本 :日中 文 明の衝突」一千年史	與那覇潤著	東京:文藝春秋,2011.11	目次:はじめに 新たな歴史観としての「中国化」 第1章 終わっていた歴史 宋朝と古代日本 第2章 勝てない 「中国化」勢力 元・明・清朝と中世日本 第3章 ぼくたちの好きな江戸 戦国時代が作る徳川日本(17世紀) 第 4章 こんな近世は嫌だ 自壊する徳川日本(18~19世紀) 第5章 開国はしたけれど「中国化」する明治日本 第6章 わが江戸は緑なりき「再江戸時代化」する昭和 第7章 近世の衝突 中国に負けた帝国日本 第8 章 続きすぎた江戸時代 栄光と挫折の戦後日本 第9章 長い江戸時代」の終焉 混乱と迷走の平成日本 第1 0章 今度こそ「中国化」する日本 未来のシナリオ おわりに「ポスト3・11」の歴史観へ	210.182 3ナ

No.	書名事項	著者事項	出版事項	内容(目次など)	請求記号
065	伝える力 ;2	池上彰著	東京 :PHP研究所 ,2012.1	目次 第1章 東日本大震災と「伝える力」 第2章 テレビの現場から私が学んだこと 週刊こどもニュース』学べるニュース』で培った伝える力 第3章 世間にあふれる「わかりにくい表現」「伝わりにくい言葉」 第4章 もっとわかりやすく伝える方法1 話をコンパクトにまとめる 第5章 もっとわかりやすく伝える方法2 話し方や話題を工夫する 第6章 気になる言葉、気になる表現 第7章 日本語は乱れているのか 第8章 かつて私も「伝える力」に悩んでいた	336.49 1ヶ2新書
066	TPP亡国論	中野剛志著	東京 :集英社 ,2011.3	目次 第1章 TPPの謎を解く 第2章 世界の構造変化を読む 第3章 貿易の意味を問い直す 第4章 輸出主導の成長を疑う 第5章 グローバル化した世界で戦略的に考える 第6章 真の開国を願う	678.3ナカ 新書
067	てつがくを着て、まちを歩こう :ファッション考現学	鷲田清一著	東京 :筑摩書房 ,2006.6	目次 :1 モードのてつがく(ファッションの基本 ファッション・アラカルト) 2 てつがくを着て、まちに出よう(からだという宇宙 スキン感覚 メイクと「おもて」 おさまりよくおさまりわるく モードのロジック スタイルについて)	383.7シ 文庫
068	電子書籍の時代は本当に来るのか	歌田明弘著	東京 :筑摩書房 ,2010.10	目次 第1章 電子書籍の問題はどこにあるのか? (最初の「電子書籍の時代が来る」 紙の本がなくなる、二度目の騒ぎ」 「リブリエ」の失敗 何度目かの「電子書籍元年」ほか) 第2章 グーグルは電子書籍を変えるか? (あらゆる書籍のデジタル化に乗り出したグーグル グーグルの「誤算」 ブック検索裁判 グーグルによって生まれる新たな電子データ市場 ほか) 第3章 「ネットは無料」の潮目が変わろうとしている? («ニュース記事は無料」の時代は終わるのか? サイトに高額課金すると新聞読者は戻ってくる? メディア王マードックの野望 読者が減っても収入は増える? ほか)	023.7タ 新書
069	図書館革命	有川浩 著]	東京 :角川書店 東京 :角川グループパブリッシング (発売) ,2011.6		913.6アリ4 文庫
070	図書館戦争	有川浩 著]	東京 :角川書店 東京 :角川グループパブリッシング (発売) ,2011.4		913.6アリ1 文庫
071	図書館内乱	有川浩 著]	東京 :角川書店 東京 :角川グループパブリッシング (発売) ,2011.4		913.6アリ2 文庫
072	友達がいないということ	小谷野敦著	東京 :筑摩書房 ,2011.5		158.3ヤ 新書
073	泣きたくないなら労働法	佐藤広一著	東京 :光文社 ,2011.11	目次 第1章 労働法という法律はない!? 第2章 祝!内定 採用 第3章 働く時間はいつからいつまで? 第4章 休日 休暇の謎 第5章 賃金 賞与 退職金 第6章 サラリーマンの宿命?人事異動 第7章 パパ・ママのための休業制度 第8章 退職は跡を濁さず! 第9章 懲戒 解雇の際に	366.14サト 新書
074	なぜ、歩くと脳は老いにくいのか	久恒辰博著	東京 :PHP研究所 ,2010.9	目次 第1章 運動すると、ニューロンがたくさん増える 第2章 運動はなぜ脳の老化防止につながるのか? 第3章 認知症とは何か 第4章 脳科学全体の枠組みからみた認知症 第5章 地中海ダイエットで老化を防ぐ 第6章 ソーシャル・エンゲージメントで脳を活性化	491.371ヒサ 新書
075	謎とき平清盛	本郷和人著	東京 :文藝春秋 ,2011.11	目次 巻の1 清盛の時代を知る (史実とフィクションの間で 大河ドラマの時代考証 清盛、その出生の謎 平家は武士か貴族か) 巻の2 改革者 清盛は何を学んだか (ライバル源氏、義朝と頼朝 武力のめざめ、保元・平治の乱 頂点に立つ平家幕府 源平の戦いと清盛の死)	289.1タイ 新書
076	南極越冬隊タロジロの真実	北村泰一著	東京 :小学館 ,2007.3	目次 第1章 旅立ち~いざ、南極へ 第2章 越冬開始 第3章 犬と隊員たち 第4章 厳寒期のカエル島へ 第5章 ボツンヌーテン犬ゾリ行 第6章 オラフ海岸の夏の旅 第7章 宗谷の苦闘、犬たちの悲劇 終章	297.909キタ 文庫
077	二十世紀の10大ピアニスト :ラフマニノフ/コルトー/シュナーベル/バックハウス/レーピンシュタイン/アラウ/ホロヴィッツ/ショスタコーヴィチ/リヒテル/グールド	中川右介著	東京 :幻冬舎 ,2011.7	目次 第1章 二十世紀の幕開け ラフマニノフの再起と天才たちのデビュー 第2章 第1次世界大戦 闘うピアニストたち 第3章 帝国の終焉 アメリカという新市場 第4章 新しい時代の始まり ホロヴィッツ登場 第5章 レコード時代到来 レーピンシュタイン対ホロヴィッツ 第6章 二つの独裁国家 ピアニストたちの苦悩 第7章 第二次世界大戦 ピアニストたちのそれぞれの闘い 第8章 戦後処理と新たな出発 リヒテルとグールドの登場 第9章 ピアニストたちの和解と決着	762.8ナカ 新書
078	2100年、人口3分の1の日本	鬼頭宏著	東京 :メディアファクトリー ,2011.4	目次 :序章 人口が日本の未来を映し出す 第1章 100年後、日本人口は4000万人になる 第2章 人口4000万人の暮らしと経済 第3章 人口4000万人の都市と地方 第4章 人口4000万人の人間関係 第5章 外国人5000万人の未来 第6章 人口100億人の世界 終章 未来には必ず希望がある	334.31キト 新書
079	二ホン英語は世界で通じる	末延岑生著	東京 :平凡社 ,2010.7	目次 第1章 ネイティブの英語とは? 第2章 なぜアメリカ英語をありがたがるのか? 第3章 東西の言語観 第4章 間違いながら学ぶ エラーとは何か 第5章 こんなにも通じる「二ホン英語」 第6章 「世界諸英語」の誕生 第7章 目からうろこの英語楽習 第8章 学校英語の規制緩和 二ホン英語のルール 終章 個性が生きる「二ホン英語」	830.4入I 新書
080	日本の国宝 100	橋本麻里著	東京 :幻冬舎 ,2011.3	目次 :1 縄文から奈良時代 (火焔型土器 海部氏系図 金印 ほか) 2 平安時代 (室生寺「叶一面観音立像」 東寺講堂諸尊 両界曼荼羅 ほか) 3 鎌倉・室町時代 (鳥獣人物戯画 伴大納言絵巻 信貴山縁起絵巻 ほか) 4 桃山・江戸 明治時代 (狩野永徳 駱中洛外図屏風 狩野永徳 四季花鳥図襖 狩野永徳 絵図屏風 ほか)	709.1ハン 新書

No.	書名事項	著者事項	出版事項	内容(目次など)	請求記号
081	日本のデザイン 美意識がつくる未来	原研哉著	東京 岩波書店,2011.10	目次 序 美意識は資源である 1 移動 デザインのプラットフォーム 2 シンプルとエンブティ 美意識の系譜 3 家 住の洗練 4 観光 文化の遺伝子 5 未来素材 「こと」のデザインとして 6 成長点 未来社会のデザイン	757.04 ハラ 新書
082	日本語教室	井上ひさし著	東京 新潮社,2011.3	目次 第1講 日本語はいまどうなっているのか(母語は精神そのものです FANCLをファンケルとなぜ読む ほか) 第2講 日本語はどうつくられたのか(「レモンティー」が正しい日本語 日本語はどこからきたのか ほか) 第3講 日本語はどのように話されるのか(最後はかならず母音でおわる 五つの音色の使い分け ほか) 第4講 日本語はどのように表現されるのか(日本人に文法はいらない 日本語の不確定さ ほか)	810.4 イノ 新書
083	日本人はどのように仕事をしてきたか 名著で読み解く	海老原嗣生 萩野進介著	東京 中央公論新社,2011.11	目次 1 戦中～戦後という奇跡的な時代環境が協調経営を形作った 2 欧米型 vs. 日本型「人で給与が決まる」仕組みの正当化 3 「Japan as No.1」の空騒ぎと、日本型の本質 4 栄光の余韻と弥縫策への警鐘 5 急場しのぎの欧米型シフトとその反動 6 雇用は企業ではなく社会が変える	366.021 イヒ 新書
084	日本人はなぜ日本のことを知らないのか	竹田恒泰著	東京 PHF研究所,2011.9	目次 第1部 日本はいつできたのか(日本の教科書は世界の非常識 憲法の根拠は「日本書紀」にあり 神武天皇の否定は初歩的な誇り 戦争なく成立した奇跡の統一国家 中国から守り抜いた独立と自尊 国を知ること 国を愛すること) 第2部 子供に読ませたい建国の教科書(先土器時代以前 新石器時代と日本の縄文時代 戦乱の弥生時代 古代王朝の誕生と古墳時代の幕開け 独立国への苦難の道 律令国家の成立)	210.3 ヌケ 新書
085	ネット帝国主義と日本の敗北 搾取されるカネと文化	岸博幸著	東京 幻冬舎,2010.1	目次 第1章 ネット上で進む一人勝ち(ネットがもたらしたプラスとマイナス ネットバブルの歴史 ネット上のサービスの構造) 第2章 ジャーナリズムと文化の衰退(新聞の崩壊 音楽の崩壊 社会にとってのマイナス) 第3章 ネット上で進む帝国主義(米国の帝国主義を助長するエコシステム プラットフォームの米国支配の問題点) 第4章 米国の思惑と日本が進むべき道(グーグル・ブック検索 米国の戦略と野望 ネット上のパラダイムシフトの始まり) 第5章 日本は大丈夫か(プラットフォームを巡る競争の激化 ジャーナリズムと文化をどう守るか 日本はどうすべきか)	007.3 キシ 新書
086	NO LIMIT ノーリミット自分を超越する方法	栗城史多著	東京 サンクチュアリ出版,2010.7	目次 限界を超える 一步を踏み出す すべてに感謝する 足りないを楽しむ 否定される 少しずつ、小さなことを続ける すべてには終わりがある 窮地に飛び込む 苦難を楽しむ 困難な目標を立てる(ほか)	786.1 クリ
087	バカボンのパパと読む「老子」	トリアン助川著	東京 角川マガジズ,2011.11	目次 上巻(道(TAO)は語れないのだ 相手があって存在するのだ うすらバカでお腹いっぱいなのだ からっぽで満々なのだ ほか) 下巻(失われて、だんだんバカになっていくのだ みんな一から始まったのだ 弱い力が強いのだ まっすぐな人はぶれぶれなのだ ほか)	124.22 トリ 新書
088	はじめて学ぶ生命倫理 :「いのち」は誰が決めるのか	小林亜津子著	東京 筑摩書房,2011.10	目次 第1章 いのちの「終わり」は誰が決めるのか 第2章 子どもの医療は誰が決めるのか 第3章 判断能力は誰が決めるのか 第4章 いのちの「質」は誰が決めるのか 第5章 双子の生死は誰が決めるのか 第6章 いのちの「優先順位」は誰が決めるのか 第7章 いのちの「始まり」は誰が決めるのか	490.15 コハ 新書
089	初湯千両	浅田次郎著	東京 集英社,2005.6		913.6 アサ 文庫
090	春告げ坂 小石川診療記	安住洋子著	東京 新潮社,2011.11		913.6 アス
091	晩節 密命 終の一刀	佐伯泰英著	東京 祥伝社,2011.12		913.6 サイ 26文庫
092	ピース	樋口有介 著]	東京 中央公論新社,2009.2		913.6 ヒク 文庫
093	ヒート	堂場瞬一著	東京 実業之日本社,2011.11		913.6 ヒナ
094	陽だまりの彼女	越谷オサム著	東京 新潮社,2011.6		913.6 コシ 文庫
095	フェルメール静けさの謎を解く	藤田令伊著	東京 集英社,2011.12	目次 第1章 フェルメールブルー 第2章 構図と素材の秘密 第3章 女たちの姿態 第4章 剥奪される意味 第5章 穏やかな光、霞む空気 第6章 静けさを描くことの意味 第7章 静かでないフェルメール	723.359 フシ 新書
096	武器としての決断思考	滝本哲史著	東京 星海社(東京 講談社 発売),2011.9	目次 はじめに 「武器としての教養」を身につける ガイダンス なぜ学ぶ必要があるのか? 1時間目 議論「はなんのためにあるのか?」 2時間目 漠然とした問題を「具体的に」考える 3時間目 どんなときも「メリット」と「デメリット」を比較する 4時間目 反論は、「深く考える」ために必要なもの 5時間目 議論における「正しさ」とは何か 6時間目 武器としての「情報収集術」 7時間目 「決断する」ということ	141.8 ヌケ 新書
097	ブラック・スワン降臨 :9.11-3.11 インテリジェンス十年戦争	手嶋龍一著	東京 新潮社,2011.12	目次 第1章 ブラック・ホークが舞い降りた 第2章 情報策源地グアタナモ 第3章 テロリストたちの航跡 第4章 ワシントン支局長の264時間 第5章 戦争は一角獣に乗って 第6章 アメリカの余りに永き不在 第7章 縮みゆくニッポン 第8章 黒鳥が舞い降りた	391.6 テシ
098	ペテルギウスの超新星爆発 :加速膨張する宇宙の発見	野本陽代著	東京 幻冬舎,2011.11	目次 第1章 ペテルギウスに爆発の兆候?! 第2章 星の誕生と進化 第3章 たそがれを迎えた星たち 第4章 宇宙の扉を開く 第5章 宇宙はどこまでわかったか 第6章 加速膨張する宇宙の発見	443.5 フエ 新書
099	暴力団	溝口敦著	東京 新潮社,2011.9	目次 第1章 暴力団とは何か 第2章 どのように稼いでいるか? 第3章 人間関係はどうなっているか? 第4章 海外のマフィアとどちらが怖い? 第5章 警察とのつながりとは? 第6章 代替勢力「半グレ集団」とは? 第7章 出会ったらどうしたらいいか?	368.51 ミシ 新書

No.	書名事項	著者事項	出版事項	内容(目次など)	請求記号
100	星やどりの声	朝井リョウ著	東京 角川書店,2011.10		9136 7サ
101	まやかしの安全の国 原子力村からの告発	田辺文也著	東京 角川マガジズ,2011.11	目次 第1章 この国に原発を持つ覚悟と能力があるのか? 第2章 この国の原発安全対策は誰がしてきたのか? 第3章 安全神話はいかにして作られたのか 第4章 データ分析して見えてきた福島第一原発事故 第5章 過去の事故に学ぶこと スリーマイル、チェルノブイリ、そしてJCO 第6章 原発の安全と安心 第7章 「軍隊」のない国が原発を持つということ	5435 7ナ 新書
102	みずうみ	よしもとばなな著	東京 新潮社,2008.12		9136 3ヨ 文庫
103	南沙織がいたころ	永井良和著	東京 朝日新聞出版,2011.9	目次 序章 沙織さんの歌声が聞こえる 第1章 「17才」まで 爆音のなかで 第2章 デビュー一年目 歓声をあびて 第3章 20才まえ 新しい音づくり 第4章 はたちをすぎて アイドル歌謡とニューミュージックのはざま 第5章 歌声に耳をかたむける 第6章 それぞれのサオリたちへ 産声とともに 第7章 国のちから、家族のきずな オキナワの声	7678 8ナカ 新書
104	民法改正を考える	大村敦志著	東京 岩波書店,2011.10	目次 序章 民法改正とは 直近の改正作業をふまえて 第1章 日本の民法改正 第2章 諸外国の民法改正 第3章 民法改正をどのように行か 第4章 民法改正はどこへ 結章 民法典を持つということ 社会の構成原理としての民法典	324 才 新書
105	もう誘拐なんてしない	東川篤哉著	東京 文藝春秋,2010.7		9136 7カ 文庫
106	森に眠る魚	角田光代著	東京 双葉社,2011.11		9136 7カ 文庫
107	野蛮人の図書館	佐藤優著	東京 講談社,2011.11	目次 第1章 人生を豊かにする書棚(意味のある読書とは何か 著者と対話しながら、自分の頭で考えることを繰り返そう 猫が教える「信頼関係」 仕事を大切に、家庭を大切にできる猫のような人は信頼できる ほか) 第2章 日本という国がわかる書棚(労働と余暇)を考える 資本主義体制では、カネになることだけが正しい 格差の本質を知る 新自由主義政策がもたらした地獄絵を正直に提示すべきだ ほか) 第3章 世界情勢がわかる書棚(新自由主義の欠陥 世界的規模で貧困問題をもたらした「悪魔のシステム」の正体 「恐慌」と戦争) アメリカにとって戦争は公共事業の一種である ほか) 第4章 頭脳を鍛える談話室(新帝国主義時代 だからこそ「琉球王国」に学べ(池上永一(作家) 佐藤優) 島原の乱に散った農民たちの死に様に、格差社会を生き抜く知恵がある(飯嶋和一(作家) 佐藤優) ほか)	0199 サト
108	よみがえりゆく平等院 新資料で再現する平安の美	神居文彰監修	東京 学研パブリッシング(東京 学研マーケティング(発売),2011.5)		702.17 加 新書
109	弱い日本の強い円	佐々木融著	東京 日本経済新聞出版社,2011.10	目次 第1章 円高と円安 その本質を理解する 第2章 為替の市場とはどんなところか ディーリング・ルームで行われていること 第3章 国力が為替相場を決めるわけではない 長期的な為替相場変動の要因 第4章 円に買われる理由などいらない 中期的な為替相場変動の要因 第5章 強い雇用統計で売られるドル 短期的な為替相場変動の要因 第6章 米ドルは最弱通貨 第7章 米金利が下落すると円高になる 金利の動きと為替相場の関係 第8章 介入で「円安誘導」などできない 介入のメカニズムと効果 第9章 「対米ドル」相場一辺倒の時代は終わった これからの為替市場と政策課題	338.952 ササ
110	ルームメイト	今邑彩著	東京 中央公論新社,2006.4		9136 17 文庫
111	老人介護 :いいさん ばあさんの愛しかた	三好春樹著	東京 新潮社,2007.12	目次 :あきらめない 希望を捨てない あるがままに生きる 無条件に愛されるということ 家族の絆を結ぶ 命に寄りそうということ 命のちから	369.26 三 文庫
112	忘れた恋のはじめ方	ゆあん著	東京 朝日新聞出版,2012.1	目次 第1章 シンデレラになってみましょう 第2章 恋の引退」を撤回する 第3章 エア恋愛の効用について 第4章 ゆっくり恋愛ウォーキングのすすめ 第5章 恋のアクセルとブレーキ 第6章 おいしくて甘い蜜の探し方 第7章 もっと仲良くなれる究極のケンカ作法 第8章 久しぶりの恋」を「強い愛」に変える魔法 第9章 つつまれるような愛情を取り戻す 第10章 永遠の愛を手に入れるために	9136 17
113	私たちはこうして「原発大国」を選んだ 増補版 核論	武田徹著	東京 中央公論新社,2011.5	目次 :一九五四年論 水爆映画としてのゴジラ 中曽根康弘と原子力の黎明期 一九五七年論 ウラン爺の伝説 科学と反科学の間で揺らく「信頼」 一九六五年論 鉄腕アトムとオープンハイマー 自分と自分でないものが出会う 一九七〇年論 大阪万博 未来が輝かしかった頃 一九七四年論 電源三法交付金 過疎と過密と原発と 一九八〇年論 清水幾太郎の「転向」 講和、安保、核武装 一九八六年論 高木仁三郎 科学の論理と運動の論理 一九九九年論 JCO臨界事故 原子力的日光の及ばぬ先の孤独な死 二〇〇二年論 ノイマンから遠く離れて	539.04 7ナ 新書
114	和本のすすめ :江戸を読み解くために	中野三敏著	東京 岩波書店,2011.10	目次 :はじめに いま、なぜ和本か。そして変体仮名のすすめ 第1章 江戸の出版事情 第2章 和本には身分がある 第3章 和本のできるまで 第4章 和本にはどんな本があるか 第5章 海外の和本事情	022.31 ナカ 新書
115	笑う避難所 :石巻 明友館 136人の記録	頓所直人著 ;名越啓介写真	東京 集英社,2011.9	目次 第1章 自主避難所 明友館 誕生 第2章 役割」を果たす避難民 第3章 リーダー 千葉恵弘 第4章 支援する避難所 第5章 奇跡の避難所 第6章 明友館に集う人々 第7章 これからの明友館	5435 ト 新書